

庄内町地域公共交通会議 会議録

- 1 開催日時 令和3年2月18日(木) 午前10時00分～10時50分
- 2 開催場所 庄内町役場B棟 会議室2
- 3 出席者 庄内町副町長 阿部 金彦
東北運輸局山形運輸支局 運輸企画専門官 那須 文彦
(一社)山形県バス協会 庄内交通(株) 常務取締役 高橋 広司
(一社)山形県ハイヤー協会 余目タクシー(有) 取締役 小鷹 ゆき
庄内総合支庁 道路計画課 課長補佐 田村 武寿
庄内総合支庁 総務課連携支援室 室長 齋藤 真朗
庄内警察署 交通係長 阿部 直之
庄内町商工会 理事 (有)立川タクシー 代表取締役 阿部 豊 (計8名)
- 4 事務局 企画情報課 課長 佐藤 博文
まちづくり係長 清野 美保
まちづくり係 主事 小林 えり奈

1 開 会 (10:00)

2 あいさつ

3 協 議

(1)酒田余目線の廃止と代替デマンドタクシー新設について

委員/このデマンドタクシーは平日のみの運行か。

事務局/平日のみの運行。

委員/あまりに便利なものになるとタクシーが使われなくなってしまうので配慮してほしい。

事務局/町で考えているデマンドタクシーは、路線バスの代替として、ドア to ドアではなく乗降場所まで来てもらって利用していただくものである。乗降場所が遠い方、ドア to ドアを希望する方は引き続きタクシーを利用していただくことになるため、デマンドタクシーとのすみわけが図られると考えられる。

委員/「国庫補助(赤字の1/2)」という表現について、実際は、赤字の1/2または自治体ごとに算出される上限額のどちらか低い額が交付されるものであるため、必ずしも1/2ではないことを留意いただきたい。

事務局/資料には端的に記載してしまったが、その点については理解している。

委員/地域の実情に合った公共交通の在り方を検討しなければならない時期に来ている。その中で庄内町も改編を進めていくが、一番のポイントは、今よりも不便にならない公共交通をつくるということ。庄内交通としても、路線バスがなくなったから撤退するとは考えておらず、できることがあれば協力していきたい。

委員／デマンドタクシー案について、終着を日本海総合病院としているのは、現状を踏まえてのことか。

事務局／調査の結果、余目地域の利用者は日本海総合病院へのニーズが多かった。また、日本海総合病院以降の中心市街地への移動は、酒田市営バス等、他の移動手段に乗り換えて対応可能であることから、本町のデマンドタクシーは日本海総合病院までと考えている。

委員／このデマンドタクシー路線案で国庫補助を受ける上での要件は満たすということによいか。
事務局／事前に運輸局に相談し、路線の新規性ありとして回答をいただいている。

(1)について合意

(2)庄内交通「鶴岡―清川線」のダイヤ改正について

質疑等なし

(2)について合意

(3)町営バスの運行内容見直しについて

委員／循環路線の小型化について、定員13人くらいしか乗らないというデータがあるのか。

事務局／1コースについては最大乗車人数13人、4コースについては最大乗車人数8人という実績になっており、ハイエースでの対応が可能と考えている。

委員／定員以上になり乗れない場合はどのように対応しているか。

事務局／増便などの対応は行っていない。

委員／経路や停留所の変更は具体的にいつくらいを予定しているか。

事務局／役場停留所が敷地内にR3年4月に完成予定のため、4月からはルートを変更する。全体のダイヤ等の見直しは9月1日を予定している。

委員／経路や停留所を変更する場合、警察署にて安全性の確認等を行うため、早めに事前の相談をいただきたい。

(3)について合意

4 その他

・戸沢村及び鶴岡市デマンドタクシーの庄内町乗り入れについて

委員／障がい者等割引制度ありとは、どのようなものか。

事務局／戸沢村デマンドタクシーの障がい者割引は1割引き、長沼・八栄島地区デマンドタクシーの障がい者割引は半額と聞いている。

委員／戸沢村デマンドタクシーが「アピア・町湯」停留所に乗り入れているが、町営バスは役場をターミナルバス停とするが、変更はないのか。

事務局／今後戸沢村と調整していく。

5 閉 会

(10:50)